

2019年5月10日

各 位

会 社 名 株式会社イトーヨーギョー
代表者名 代表取締役社長 畑 中 浩
(コード番号 5287 東証二部)
問合せ先 管理部長 山 崎 智 彦
(TEL 06-4799-8850)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり、特別損失を計上することについて決定し、2019年4月24日に公表しました2019年3月期通期業績予想を、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

下記のとおり、固定資産の減損損失の計上を決定したため、これに伴って生じる特別損失を、2019年3月期に計上するものであります。

(1) コンクリート関連事業部

当社コンクリート関連事業部において、当期に営業損失を計上する見込みとなり、減損の兆候が認められたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2019年3月期決算において当事業部が保有する固定資産（建物、生産設備等）について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、287,214千円を減損損失として特別損失に計上いたします。今後も継続して競争力の確保およびコスト改善等による効率化を図り、一層の収益改善に取り組んでまいります。

(2) 遊休資産

当社の遊休資産である旧岡山工場及び兵庫県高砂市土地において、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、2019年3月期決算において、当該資産グループに含まれる固定資産（建物、構築物）について帳簿価額を回収可能価額まで減額し、49,127千円（旧岡山工場48,000千円、兵庫県高砂市土地1,127千円）を減損損失として特別損失に計上いたします。

2. 業績予想の修正について

2019年3月期通期業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	2,853	60	55	25	8.70
今回修正予想（B）	2,853	55	50	△314	△105.40
増減額（B - A）	—	△5	△5	△339	—
増減率（％）	—	△8.3	△9.1	△1356.0	—
（ご参考）前期実績 （2018年3月期）	2,687	19	26	212	71.18

修正の理由

上記「1. 特別損失の計上」に記載のとおり、当期純損失におきまして、特別損失が多額に発生することから、前回発表予想を下回る見込みとなりました。なお、営業利益及び経常利益におきましては、前回発表予想以降、より精査した結果、業績予想数値を修正しております。

これにより、2019年3月期通期の業績予想数値を修正するものであります。

期末配当金につきましては、1株当たり8円となる予定であり、変更はございません。

（注）上記の業績予想は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上